

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	農林部農政課		■担当係	園芸畜産係
■評価事業名称	農産物ブランドアップ対策事業(補助金事業)			
■評価事業コード	050100 - 200	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり		
	■基本施策	03 魅力ある農林業の振興		
	■施策	02 農産物の高付加価値化と新たな流通の開拓		
■事業の種類	06 負担金・補助金(ソフト事業)	■政策・業務区分	政策	
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の概要	付加価値の高い農産物の生産・加工の振興を図るため、地産地消の実践、加工品の開発などによる地元農産物のブランド向上に関する先導的な取り組みに対し支援するもの。消費者との交流事業や地産地消の実践的な取り組み、地元農産物を使用した加工品の開発等、農産物のブランド向上に対する事業支援			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	農産物ブランドアップ対策事業(補助金事業)	農家、農業生産法人等の、個人または団体		株更木ふるさと興社の「更木桑茶」商標登録出願と桑茶まつりでのPR事業を支援

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	75	162	202	200	
人件費	165	1,145	487	865	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	240	1,307	689	1,065	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	実施事業主体数	1	1		1	平成22年度 社会福祉法人いわて共生会あけぼの
02	実施特産品目数	1	1		1	平成22年度 二子さといもの頭芋のペースト化加工
03	農産物関係商標登録数		2		1	「二子さといも」の地域団体登録を目指す

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

04	実施事業主体当たりコスト		1,307千円		
05	品目当たりコスト		1,307千円		

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■ 目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

更木桑茶の商標登録やPR事業を支援することで、地域ブランドとしてスタートすることができた。

問題点・課題等

農産物の地域団体商標登録を進めていくうえで、ブランド向上のためには生産者の技術向上や流通経路別の対応を検討していく必要がある。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■ 今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

補足説明

県内一の出荷額を誇るアスパラガス等で北上ブランドの周知が必要である。